

## 「審美歯科治療を成功させる為にラボサイドにてやるべきこと

～コミュニケーションを含むトータルアプローチ～

昨今、前歯部審美領域をオールセラミックレストレーションにて修復をするさい天然歯同様の審美性、もしくは術前と異なり患者が描く理想的な配列を求められることが臨床ではよく目にする。当ラボラトリーにおいてもそのような症例がけっして少なくはない。咬合はもとより、個性的な形態付与・効率を考慮した色調再現法・生体親和性・これらを考慮したマテリアルセクションや設計が成功に導くための要因とラボサイドにておさえておきたいポイントと考える。今回はこれらの要因を私の臨床例を使用してパート別に紹介する。けしてこれらは難しいものではなく、考え方または製作方法を考慮することによって仕事の効率化にもつながると思いい提案をしたい